

## 令和4年度 学校経営報告書（関係者評価）

学校番号	6	学校名	静岡県立熱海高等学校	校長名	鈴木 康之
------	---	-----	------------	-----	-------

評価	基準	評価	基準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日々の生徒との関わりを大切に、個に応じた「温かく」かつ「丁寧」な指導を充実させ、欠席、遅刻、早退の減少を図り、中途退学者数の減少につなげる。	1日の欠席9人・遅刻2人・早退0.5人未満	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席、遅刻、早退等の原因をしっかりと分析してほしい。</li> <li>3年生の退学者3名が残念。</li> <li>明確な対処方法の確立が必要。</li> <li>退学者が9名、コロナ禍で評価難しい。</li> </ul>
	教職員間で生徒指導に対する基準の意思統一を図り、ぶれることのない一貫した指導を行い、規範意識を身につけさせる。	昇降口・伊豆多賀駅にて声掛け指導を毎日実施 チケット年間枚数250以下 生徒指導件数年15件以下(いじめ指導0件)	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の成長を期待したい。</li> <li>目に見える変化を感じられている。</li> <li>教員の結束力が評価できる。</li> <li>いじめ指導0件は素晴らしい。</li> <li>先生方が公平に指導してくれるのはとても良い。</li> </ul>
イ	知的好奇心を喚起するような魅力ある授業を実践し、育成すべき「資質・能力の三つの柱」の向上を図る。丁寧で分かりやすい授業、家庭学習の習慣化を推進し、基礎学力を定着させる。	教員の公開授業参加率100% 公開研究授業年2回実施	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好</li> </ul>
		授業評価「授業が分かる生徒」75%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解度に対する評価をもっと共有したい。</li> <li>目標達成しているが、全く理解できない生徒が1.91%いることの改善策強化が必要。</li> <li>学び直し等でサポートされていると思っていたので理解できない生徒がいる事に少し驚いた。</li> <li>1年の時に集中して理解を求める。</li> </ul>
	「研修通信」月1回以上発行	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>年6回発行を評価したい。</li> </ul>	

様式第4号

		生徒の家庭学習時間 30 分以上 60%	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への意欲に対する考え方の転換をのぞむ。</li> <li>・何故自己学習できないのか、要因を分析したい。</li> <li>・次年度一人一台 PC を使って家庭学習に意識が向くと良いと思う。</li> <li>・1日1教科で課題を出してはどうか。</li> </ul>
ウ	<p>進路シラバスに従い、計画的に生徒のキャリア形成のための進路指導を実施する中で、その成果を検証し、よりよいものに改善していく。地元企業や大学、専門学校等との連携により進路行事を充実させ、進学先、就職先の開拓につなげる。</p> <p>将来の可能性を広げるために、意欲を喚起し、より高い進路希望を掲げて地道に努力する生徒を育て、その実現に向けての実力を養成する。</p>	通信の発行月 1 回以上	A	A	・良好
		保育・介護体験実習及び類型実習の参加率 100%、インターンシップ・オープンキャンパスの参加率 100%	B	B	・社会人になるための一歩だという意味も含めて指導してほしい。
		第一志望進路先への合格・内定 85%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の個別指導の成果だと考える。</li> <li>・進路の適応性をもう少しみてあげて欲しい。</li> </ul>
エ	<p>生徒が主体的に取り組む場面を意図的に創出し、達成感、自己肯定感を育む。</p> <p>部活動や生徒会活動へ意欲を持って参加する生徒の割合を増やし、学校の活性化につなげる。</p>	学校行事に対する生徒満足度 80%以上	A	A	・良好
		2、3年生の部活動加入率 70% 部活動満足度 80%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の学校教育の中での 80%以上は高く評価したい。</li> <li>・希望の部活入部への工夫が必要。</li> </ul>
オ	<p>HR、学年集会、全体集会など、教育活動の様々な場面で、道徳的価値を高める指導をし、集団生活において自他を尊重する態度を養う。</p>	各学期 1 回以上実施	A	A	・さらに活発に実施されることをのぞむ。
		<p>SST 実施回数</p> <p>1 年毎週 1 回</p> <p>2、3 年毎月 1 回</p> <p>学年単位で実施</p> <p>学校生活アンケートいじめ嫌がらせ項目 0</p>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好</li> <li>・個に重点をシフトしてそこから全体につなげる指導を。</li> </ul>

様式第4号

		件			
カ	読書環境を整備し、読書習慣を定着させ、読書量の増大及び質の改善を目指す。	授業における図書室利用数 年20回以上	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の現況に合った活用方法を検討する必要がある。</li> <li>・活用方法の充実、検討が必要。</li> <li>・コミュニケーションの場所として活用してみてはどうか。</li> </ul>
		朝読書平常授業日毎日実施	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好</li> </ul>
キ	生徒が心身ともに安心して快適に過ごせるよう、生徒・保護者の健康管理に対する意識を向上させ、安心・安全な教育環境を整備する。	保健だより 月1回発行	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好</li> </ul>
		朝食摂取率 80%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂取率は75%以上あれば良好と思える。</li> <li>・軽食の自動販売機の早い導入を期待する。</li> <li>・家庭環境もあるがやはり100%を目指すべきである。</li> </ul>
	特別支援教育に対する教員の資質・能力を向上させ、生徒個々の状況や教育的ニーズに適切に対応する。	心理アドバイザーの相談日 月1回	B	B	
ク	生徒の危険への予測・対応力を育成するとともに、奉仕活動等を通じて地域貢献意欲を高める。	奉仕活動 年2回以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動に対する評価は高い。</li> <li>・ボランティア部の落書き消去等も行ってくれている。</li> <li>・奉仕ではなく、当たり前になるよう意識付けをしてほしい。</li> </ul>
		防災訓練参加率 50%以上	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識が低い。</li> </ul>
ケ	広報活動を充実させ、生徒・保護者・地域に対し、学校の特徴的な取り組みや成果についての理解を広め、生徒募集の増加につなげる。 地域との連携を深め、地域に根ざした教育を実践することにより、地域から信頼される学校づくりにつなげる。	中学校訪問2 か月に1回 「学校新聞」 年6回発行 ホームページ 週1回更新	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好</li> </ul>
		オープンスクール参加者数 30人以上、一日体験入学者参加人数120人以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回の参加者数増やす。</li> </ul>
		P T A役員会の参加率50%以上	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の協力は大切だと思う。保護者も一緒に熱海高校のために頑張ってくれことをのぞむ。</li> <li>・目標は達成している。</li> </ul>

様式第4号

					・委員会参加率が低い。
コ	外郭団体等と連携し、生徒が国際感覚を身につける場を提供し、積極的な交流により多様な文化への理解を深めさせる。	異文化交流に係る行事等の実施1回以上	A	A	・ヒマラヤ桜を活用してほしいと考える。
サ	生徒や職員が安心して過ごせる教育環境を整える。	施設設備の巡回点検月1回 施設設備に係る生徒事故0件	B	B	
シ	教職員の組織・業務や教育活動の見直し、時間外勤務の削減を通し、生徒に対して効果的な教育活動を行う環境を整備する。	時間外勤務の平均45時間以内 業務改善をした教職員の割合100% 意識付けのための情報提供年間10回以上	B	B	・初島との関りはすばらしい取組だと考える。